

平成28年8月20日

守谷市議会議長 殿

委員長： 川名 敏子 印

報告者： 渡辺 大士 印

都市経済常任委員会 視察・研修報告

標記の件について、次のとおり 実施・参加 したので報告します。

視察・研修日	平成28年7月21日（木）	
視察・研修場所	新潟県小千谷市	
視察・研修項目	新潟県中越大地震の教訓を生かした防災の取り組みについて （施設概要，設立経緯，運営方法，現状と課題等）	
参加者	守谷市側	川名敏子委員長、長谷川信市副委員長、渡辺秀一委員、 高梨隆委員、神宮栄二委員、渡辺大士委員、 都市整備部長 山中 毅、議会事務局 望月理恵
	相手側	議長 久保田久英、危機管理課係長 中山真也 小千谷メモリアルパーク職員 松本勝男
視察・研修目的	中越大震災から10年を経過した小千谷市より、自治体における災害対策の教訓を学ぶ。現在、守谷市も参加しているネットワークおぢや等、先進的な防災対策について研修する。	
視察・研修内容	別紙のとおり	
視察・研修総括 （今後の取組み等）	小千谷市では、「災害時に一番欲しかったのは情報だった。」という市民の声に応じて、緊急告知ラジオを全世帯、全事業所に配布した。自主防災組織は、市が必要経費を負担するなどして9年かけて町内会をベースに100%達成する等、具体的に多くを学ぶことが出来た。守谷市でも取り組んで行きたい。	

視察・研修内容

おぢや震災ミュージアム そなえ館

災害を「知る」「聴く」「体感する」「考える」そして「そなえる」

はじめに

平成23年10月、震災メモリアル拠点として震災の経験と教訓を後世に伝えていくこと、防災の研究や学習の場となることを目指して設置された。

テーマ「楽しく学んで そ・な・えましょ！」

施設概要

① 発災シアター

CGで再現した地震発生の様子を視聴できる部屋

② 3時間語の部屋

震災被害の様子がわかる部屋

③ 3日後の部屋

避難生活の様子がわかる部屋

④ 地震動シミュレータ

地震疑似体験ができる部屋

⑤ 3年後の部屋

復旧から復興への流れがわかる部屋

⑥ 3ヶ月後の部屋

仮設住宅生活～復旧までの生活がわかる部屋

の6部屋に分かれておりわかりやすく「3」の数字に合わせて学べるようになっている。

また施設では防災学習体験プログラム・視察研修プログラムが実施しており、様々なジャンルの語り部さんから来館者のニーズにあった話が聞けるプログラムを実施していた。